

序文

吉新通康 1

序にかえて

山田隆司 4

第1章 師に導かれて

- 五十嵐の10の軸、その真骨頂を垣間見る……………五十嵐正紘先生 11
 あらためて、ジェネラルを師に学ぶ……………五十嵐正紘先生 35
 若い人や社会のために役に立つこと、それが自分の使命……………高久史麿先生 59

第2章 地域医療の仲間たち

- 島の医療を語る……………奥野正孝先生 79
 地域で教える、地域で学ぶ……………吉村学先生 93
 家庭医を志す皆さん、夢を信じ続けて一緒にやってみましょう!!……………葛西龍樹先生 111
 地域だからこそ、みえるものがある……………白浜雅司先生 133
 被災者であり、しかし、まず医療者として……………齋藤充先生 157
 教育の極意は、めっちゃ楽しい姿を見せること……………林寛之先生 177
 世界でいちばん子どもが死亡する国で、子どもの命を守るために……………國井修先生 197
 今、第二の医師人生を、地域の第一線で……………笹井平先生 219
 八戸の救急が「万能細胞医」を生む!……………今明秀先生 241

第3章 社会から見た地域医療

- 病の経験から、家庭医へ送るメッセージ……………鳥越俊太郎氏 000
 ジャーナリストとして、人として、考える ―医療現場の取材を通して―……………迫田朋子氏 000
 137万の命と人生を守るために……………三村申吾氏 000

第4章 先達に学ぶ

- 医療は、患者さんの言葉によって始まり、言葉によって終わる……………永井友二郎先生 000
 教えるのではなく、一緒に学ぶ教育を!……………宮城征四郎先生 000
 逃げない医療を提供する……………野中博先生 000
 医療が、今、すべきことは何か……………邊見公雄先生 000

第5章 海外からのメッセージ

- 米国家庭医療学の歴史と現状に学ぶ……………John W. Saulitz先生 000

第6章 わが地域医療人生

- 生涯、ふつうの家庭医を目指す……………山田隆司 000